

W
E
R
E

Angel Voices Tour 2012





Libera

リベラ



Angel Voices Tour 2012

4.13 FRI 14 SAT in Tokyo

Bunkamura オーチャードホール

主催 カジモト・イープラス
協力 EMIミュージック・ジャパン

エイドリアン・シェアード
ADRIAN SHEARD

バーニー・リンドゼル
BARNEY LINDSELL

ベン・フェアマン
BEN FAIRMAN

カルロス・ロドリゲス
CARLOS RODRIGUEZ

カシウス・オコーネル-ホワイト
CASSIUS O' CONNELL-WHITE

キアラン・ブラッドベリー-ヒッキー
CIARAN BRADBURY-HICKEY

ディラン・ダフィー
DYLAN DUFFY

オーエン・マッカーシー
EOGHAN MCCARTHY



ヘンリー・バリントン
HENRY BARRINGTON

アイザック・ロンドン
ISAAC LONDON

ジェイコブ・ニーデルマイヤー・リード
JAKUB NIEDERMAIER-REED

ジュード・コリンズ
JUDE COLLINS

カヴァーナ・クロスレイ
KAVANA CROSSLEY

ルーカス・ウッド
LUCAS WOOD

ルーク・コリンズ
LUKE COLLINS

マシュー・ヤンセン
MATTHEW JANSEN

マシュー・マディーン
MATTHEW MADINE

マシュー・ランゲル-アルバレス
MATTHEW RANGEL-ALVARES

マイケル・メネゼス
MICHAEL MENEZES

マイケル・ウスティノヴィッチ-レパ
MICHAEL USTYNOVYCH-REPA

オスカー・マクフォール
OSCAR MCFALL

ラルフ・スカン
RALPH SKAN

ステファン・リードビーター
STEFAN LEADBEATER

トーマス・デルガド-リトル
THOMAS DELGADO-LITTLE

キーボード&ピアノ
ロバート・プライズマン
ROBERT PRIZEMAN Keyboard & Piano

キーボード&クラリネット&リコーダー
スティーヴン・ゲルティ
STEVEN GERAGHTY Keyboard & Clarinet & Recorder

パーカッション
サイモン・ロス
SIMON ROTH Percussion

第1ヴァイオリン 第2ヴァイオリン
会田莉凡 山崎響子

ヴィオラ チェロ
河村 泉 酒井桃子

ミュージックディレクター
ロバート・プライズマン
ROBERT PRIZEMAN Music Director

From the earliest days, Japan has supported Libera. Over many years the warmth and enthusiasm of our Japanese followers has given us encouragement and inspiration. So our dream to take the sounds of the boys' voices to a wider audience has been realised across the world thanks, in so many ways, to the special relationship between Libera and Japan.

We have all been very shocked by the tragic events of a year ago. Having toured the country many times, we feel at home in Japan. Indeed, 2 years ago we were performing in Sendai. So our hearts go out to the thousands of people still suffering from the loss of loved ones, families and homes. If our music can in any small way give comfort or solace to the bereaved then we are greatly honoured. We sing 'Do not stand at my grave' as a memorial.

Message from

Robert PRIZEMAN

Music Director





日本の皆さんはリベラをずっとサポートして来てくれました。日本のファンの皆さんの熱意によって私達も勇気づけられ、そしてインスピレーションをもらいました。リベラの声をより広く世界中の人々に聴いてもらうという私達の夢が達成できたのも、日本のファンの皆さんとの出会いがあったからです。約1年前の東日本大震災という悲劇的なニュースを聞きリベラのメンバー、スタッフはとても心を痛めました。これまで何度も日本ツアーをしてきた私達にとって日本は第二の故郷のような所で2年前にも仙台でコンサートを開催しました。愛するご家族や家を失い、いまでも困難な生活を強いられている皆さんに心からお見舞い申し上げます。私達の音楽で皆さんの心を少しでも癒す事を願い、そして亡くなった方への追悼の意をこめて、『いつもあなたのそばにいるから』をお贈りしたいと思います。

ロバート・プライズマン

「リベラ」ミュージックディレクター

第1部

I

- 1 ユビラーテ・デオ
Jubilate Deo
- 2 リベラ
Libera
- 3 生命の奇跡
Song Of Life
- 4 サンクティッシマ
Sanctissima
- 5 サンクトゥス
(パツヘルベル:カノンによる)
Sanctus
- 6 誓い〜ジュピター
I Vow To Thee My Country
- 7 エターナル・ライト
Eternal Light
- 8 サルヴァ・メ
Salva me
- 9 いつもあなたのそばにいるから
(千の風になって)
Do Not Stand At My Grave And Weep
- 10 エクスルターテ
Exsultate



Libera
Angel Voices Tour 2012

P R O G R A M

第2部

III

- 1 オリノコ・フロウ
Orinoco flow
- 2 グロリア
(サン＝サーンス：オルガン交響曲)
Gloria
- 3 生命の泉
(ショパン：プレリュード ハ短調)
The Fountain
- 4 デイエス・イレ
Dies Irae
- 5 感謝する心
Grateful Heart
- 6 ステイ・ウィズ・ミー
Stay with me
- 7 アヴェ・ヴェルム
Ave Verum
- 8 彼方の光
Far away
- 9 汝の神に今宵栄光あれ
Glory To Thee My God This Night
- 10 天使たちの歌
How Shall I Sing That Majesty

リベラ

未来を宿した希望の光

相原 穰

text by Minoru Aihara

少年たちのまっすぐな瞳そのままに、心の奥深くに届くりベラのヴォイス。その歌に秘められた慈しみの力を、今の日本の人々はいつそう強く感じるのではないのでしょうか。

ボーイソプラノ・ユニット、リベラのメンバーたちは、南ロンドンに様々な集まった7歳から16歳までの少年たち。エリート然とした面持ちよりも、「普通」と称されることの多い、屈託のない笑顔が並びます。しかし、その彼らがひとたびステージに立てば、一人ひとりがしっかりとした存在感を放ち、どのボーイズ・クワイアとも一線を画した独自のリベラ・ワールドを出現させます。その根底には、古来の教会音楽の伝統と現代感覚との融合を目指すミュージックディレクター、ロバート・プライズマンの明確なコンセプトと手腕があり、そして、そのミスティカルで斬新な音楽を世界各地のオーディエンスの前で歌うことを心から楽しむ少年たちの心の輝きがあります。

日本では、昨年3月11日の東日本大震災やそれに伴う原子力発電所の放射線問題に、今なお多くの人々が心痛を覚え、苦難の生活を強いられています。親しい人を喪った悲しみが、簡単に癒えることはないでしょう。それでも、誰かが傍らで手を差し伸べ続けてくれれば、次の世代に託せる希望を指し示してくれれば、再び立ち上がって歩き出す勇気への大きな励ましとなるに違いありません。リベラの歌う歌詞は、キリスト教の伝統的な詩句を核にしながらも、現代に広く訴えるものです。そこには常に苦難や悲しみに寄り添う共感の眼差しと自由や解放への願いがあります。そして何よりも、そうした歌詞を清らかなエンジェル・ヴォイスで届けてくれる少年たち自身の中に、未来へと芽吹く純心な喜びが宿されていることこそが、私たちにも希望と勇気を与えてくれるのではないのでしょうか。

2010年以来2年ぶりとなる6回目の来日公演。今回は特に、被災した方々の心の痛みを少しでも癒せる事を願い、そして亡くなった方への追悼の意をこめて、「いつもあなたのそばにいるから (Do Not Stand At My Grave And Weep)」を歌いたいとのことです。リベラと日本のファンとの気持ちをさらに近づける大切なコンサートとなることでしょう。





第1部

1. ユビラーテ・デオ

Jubilate Deo

「ユビラーテ・デオ (Jubilate Deo)」は、「神を讃えよ」という古来のラテン語句をモチーフに、ロバート・プライズマンが作曲した曲です。神の栄光を讃える言葉を、音楽が神々しい光となって包みます。

2. リベラ

Libera

「リベラ (Libera)」は、同名のファースト・アルバムで発表されて以来、いわばテーマソングとして歌われてきました。ミステックなサウンドが過去と現代の心をつなぎます。

3. ^{いのち}生命の奇跡

Song of Life

「生命 (いのち) の奇跡 (Song of Life)」は、代理母出産という社会的テーマとして取り上げた2011年春放映のNHKドラマ10『マドンナ・ヴェルテ～娘のために生むこと～』(原作、海堂尊)の主題歌として作られました。作曲は、「彼方の光」をはじめ、リベラとの数々の美しきコラボレーションを展開している俊英作曲家の村松崇継です。

4. サンクティッシマ

Sanctissima

「O sanctissima, O piissima (ああ聖なるかた、ああ慈悲深きかた)」と静謐に歌いだされる歌詞は、古いシチリア民謡の旋律にのせて、ローマカトリック教会の聖歌として受け継がれてきました。プライズマンによるこの新たなメロディは、聖母のヴェールを思わせる輝きにあふれています。

5. サンクトゥス

Sanctus

「サンクトゥス (Sanctus)」から響いてくるのは、御存じの「パッヘルベルのカノン」。バロック音楽の名曲の持つ美しい音の運びに、プライズマンの現代的センスが見事に結びついた、清冽にして爽やかな曲です。

6. 誓い～ジュピター

I Vow To Thee My Country

英国の作曲家ホルストが作曲した組曲「惑星」の中で、最も有名な第4曲「ジュピター (木星)」。その中間部の雄大なメロディは、本国では「I Vow to Thee, My Country (祖国よ、我は汝に誓う)」という歌詞と共に聖歌としても、しばしば歌われます。

7. エターナル・ライト

Eternal Light

交響曲やオペラなどの創作に加え、日本アカデミー賞優秀音楽賞を数度受賞するなど映画音楽などの他分野でも評価の高い作曲家、千住明。「エターナル・ライト (Eternal Light)」は、2010年の上海万博に出展された大塚製薬のブースでテーマ曲として流されました。

8. サルヴァ・メ

Salva Me

「私を救ってください」というラテン語タイトルによる「サルヴァ・メ (Salva Me)」は、終わりのない夜から光輝く自由への解放を訴えかけます。東京地検特捜部の精鋭ライヴァル同士の葛藤を描いた2001年春放映のNHK総合ドラマ『ある日、嵐のように』で、主題歌として用いられました。



曲目解説

相原 穰

text by Minoru Aihara

9. いつもあなたのそばにいるから

Do Not Stand At My Grave And Weep

「Do not stand as my grave and weep (私のお墓の傍に立って泣かないでください)」で始まる詩は、しばしば追悼の言葉として唱えられてきました。長らく作者不詳でしたが、今日ではメアリー・フライというアメリカ人女性が1932年に記したものとされています。日本では、「千の風になって」という訳詩に曲が付けられ、一躍広まりました。リベラの歌は、プライズマンによるオリジナルのメロディです。

10. エクスルターテ

Exultate

「エクスルターテ (Exultate)」の歌詞を、1840年英国レスターシャー生まれの牧師ヘンリー・バートンによるもの。バートンは、ウェールズの山々が恩寵の光に包まれるのを見てこの詩を作ったと言います。

第2部

1. オリノコ・フロウ

Orinoco

アイルランドに脈打つケルトの伝統をベースに、独自のサウンドを打ち立てた歌姫エンヤ。大ヒットした「オリコノ・フロウ (Orinoco)」は、その神秘的なサウンドの魅力を世界に伝えました。タイトルは南米第3の大河、オリノコ川に由来します。

2. グロリア

Gloria

「動物の謝肉祭」で有名なフランスの作曲家、サン＝サーンスは優れた教会オルガニストでもありました。この「グロリア (Gloria)」は、そのサン＝サーンスがパイプオルガンの響きを取り入れて作った名曲、交響曲第3番「オルガン」のメロディをアレンジしたものです。



3. 生命の泉

The Fountain

悲嘆の涙にくれる「生命(いのち)の泉 (The Fountain)」。そのベースになっているのは、ショパンのピアノ曲集「24の前奏曲作品28」に収められた第20番ハ短調。荘厳にして沈うつなラルゴの音楽です。

4. ディエス・イレ

Dies Irae

「ディエス・イレ (Dies Irae)」、すなわち「怒りの日」とは、キリスト教における神による最後の審判の日のこと。音楽では、モーツァルトやヴェルディによる「レクイエム」中の劇的な曲がよく知られています。

5. 感謝する心

Grateful Heart

心洗われる「感謝する心 (Grateful Heart)」を作ったのは、1905年生まれの英国の女性作曲家メアリー・プラムステッド。出版されている作品が少ないため、あまり知られてはいませんが、少年聖歌隊のレパートリーとして取り上げられるこの聖歌を始め、美しい歌を多数手掛けたようです。

6. ステイ・ウィズ・ミー

Stay with me

アルバム『free』で発表され、リベラの代表曲の1つとなった「ステイ・ウィズ・ミー (Stay with me)」。

ボーイ・ソプラノの透明感に満ちた声が、ポップなビートと見事に調和し、リベラ的世界を生み出します。

7. アヴェ・ヴェルム

Ave Verum

「Ave verum corpus natum de Maria Virgine (めでたし、乙女マリアからお生まれになった真のお体よ)」のラテン語句は、聖体を讃美するラテン語句で、モーツァルトの名曲でも知られています。リベラの歌詞は、途中で英語に変わり、神秘と希望の夜明けを歌います。

8. 彼方の光

Far Away

リベラと俊英作曲家の村松崇継が初コラボレートした「彼方の光 (Far Away)」は、リベラの魅力を日本で一躍知らしめた曲。2006年のNHK土曜ドラマ『氷壁』(原作：井上靖)に主題歌として提供されるとともに、シングルカットとして世界同時リリース。近年では、パナソニック「VIERA」のCMなどにも使われ、お茶の間の関心を集めました。

9. 汝の神に今宵栄光あれ

Glory To Thee My God This Night

リベラによる「汝の神に今宵栄光あれ (Glory To Thee My God This Night)」は、「タリスのカノン」とも称されます。トマス・タリスは、ヘンリー8世からエリザベス1世に至る4人の国王に仕えた英国ルネッサンス期の作曲家で、その音楽には素朴な美しさが光ります。

10. 天使たちの歌

How Shall I Sing That Majesty

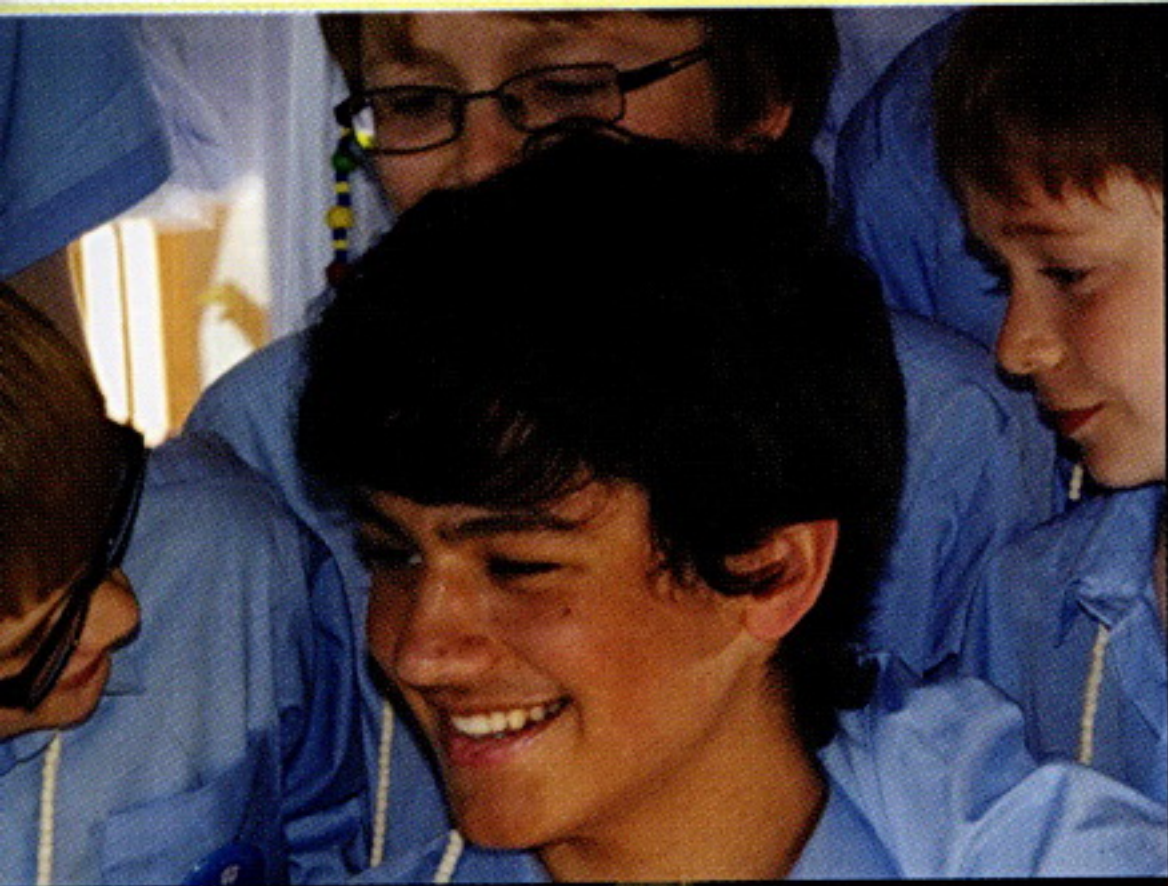
「天使たちの歌」で歌われる「How shall I sing that Majesty」の詩句は、17世紀にジョン・メイソンによって書かれたもので、英国国教会で最初に用いられた聖歌の歌詞の1つとされています。プライズマンによるリベラ・バージョンは、その歌詞から部分々々を抜粋して自由に組み替えています。



AD

4





Libera
MEMBER





Adrian
SHEARD

エイドリアン・シェアード



Barney
LINDSELL

バーニー・リンドゼル



Ben
FAIRMAN

ベン・フェアーマン



Carlos
RODRIGUEZ

カルロス・ロドリゲス



Cassius
O'CONNELL-WHITE

カシウス・オコーネル-ホワイト



Ciaran
BRADBURY-HICKEY

キアラン・ブラッドベリー・ヒッキー



Libera





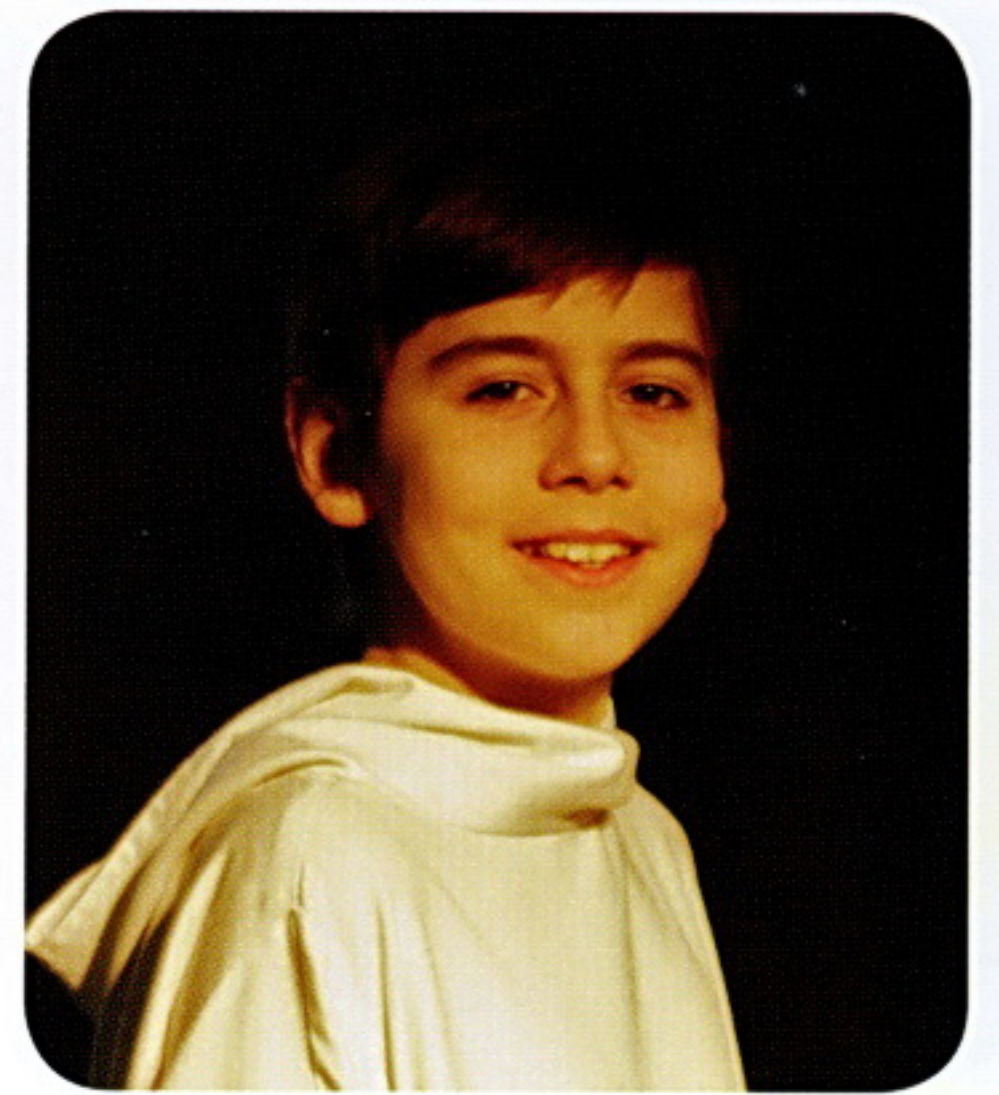
Dylan
DUFFY

ディラン・ダフィー



Eoghan
MCCARTHY

オーエン・マッカーシー



Henry
BARRINGTON

ヘンリー・バリントン



Isaac
LONDON

アイザック・ロンドン



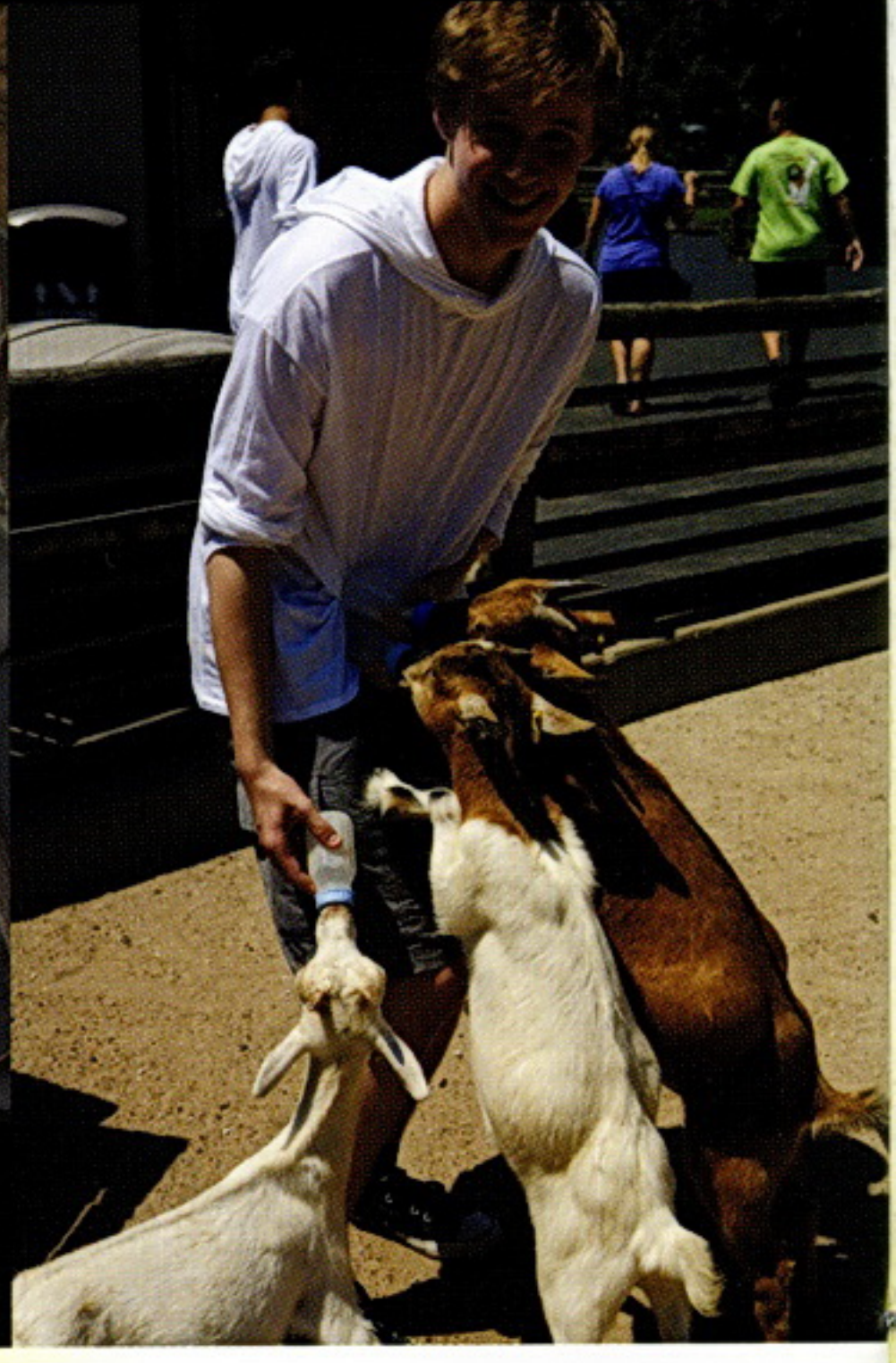
Jakub
NIEDERMAIER-REED

ジェイコブ・ニーデルマイヤー・リード



Jude
COLLINS

ジュード・コリンズ



Libera





Kavana
CROSSLEY

カヴァーナ・クロスレイ



Lucas
WOOD

ルーカス・ウッド



Luke
COLLINS

ルーク・コリンズ



Matthew
JANSEN

マシュー・ヤンセン



Matthew
MADINE

マシュー・マディーン



Matthew
RANGEL-ALVARES

マシュー・ランゲル-アルバレス



Libera





Michael
MICHAEL MENEZES

マイケル・メネゼス



Michael
USTYNOVYCH-REPA

マイケル・ウスティノヴィッチ-レパ



Oscar
MCFALL

オスカー・マクフォール



Ralph
SKAN

ラルフ・スカン



Stefan
LEADBEATER

ステファン・リードビーター



Thomas
DELGADO-LITTLE

トーマス・デルガド-リトル



Libera HISTORY

- 1999 デビューアルバム『Libera』リリース
- 2001 セカンドアルバム『Luminosa』リリース
- 2004 サードアルバム『free』リリース
- 2005.4 初のアジアツアー LIBERA ASIA TOUR 2005 を韓国と日本で行う
日本では東京(すみだトリフォニーホール)と横浜(YOKOHAMA BLITZ)で初来日公演を行う
- 2005.10 4thアルバム『VISIONS』リリース
2回目の来日公演を東京(文京シビックホール)、横浜(みなとみらいホール)、
名古屋(愛知県芸術劇場)で行う
- 2006.1 NHK土曜ドラマ『氷壁』で主題歌として「彼方の光」が使われ注目を集める
- 2006.2 ベストアルバム『彼方の光～ Welcome to Libera's World～』リリース
- 2006.11 5thアルバム『Angel Voices』リリース
- 2007.3 『エンジェル・ヴォイセス 来日記念盤』リリース
- 2007.4 3回目の来日公演を東京(Bunkamura オーチャードホール)、
名古屋(愛知県芸術劇場)、大阪(ザ・シンフォニーホール)で行う



- 2008.3 『エンジェル・ヴォイセズ：リベラ・イン・コンサート』CD、DVDリリース
- 2008.4 NYヤンキーススタジアムでのローマ法王訪米ミサで歌声を披露
- 2008.6 6thアルバム『新しい夜明け/NEW DAWN』リリース
- 2008.12 『祈り～あなたがいるから』リリース
- 2009.4 4回目の来日公演を東京 (Bunkamura オーチャードホール)、仙台 (東京エレクトロンホール宮城) で行う
カリフォルニアにて公演を行う
- 2009.10 フィリピンツアー (マニラ・セブ島) を行う
- 2010.3 7thアルバム『peace』リリース
- 2010.4 5回目の来日公演を東京 (Bunkamura オーチャードホール) で行う
- 2010.7-8 USA ツアー
- 2011.4 カナダツアー
- 2011.10 フィリピンツアー
- 2011.11 リベラ初のクリスマスアルバム『Winter Songs』リリース
- 2012.4 シンガポール公演 & 6回目の来日公演を東京 (Bunkamura オーチャードホール) で行う

2012年来日公演予定演目を収録した、とってもお得な来日記念スペシャル盤!

「彼方の光」「生命の奇跡」他、TV,CMでおなじみの名曲から、
コンサートでは欠かせない定番曲「リベラ」「サンクトゥス」等全17曲収録!
コンサートの余韻に浸りたいあなたにお薦めです!

リベラメンバーからの
直筆メッセージ入り!

<収録曲>

[CD] 収録曲

1. ユピラーテ・デオ
2. リベラ
3. 生命の奇跡(NHKドラマ10「マドンナ・ヴェルデ」主題歌)
4. サンクティッシマ
5. サンクトゥス(バッヘルベルのカノン)
6. 誓い~ジュピター(浅田真央選手2011-12シーズンエキシビジョン使用曲)
7. エターナル・ライト(大塚製薬 上海万博・日本産業館ブース出展 テーマ曲)
8. サルヴァ・メ
9. いつもあなたのそばにいるから(千の風になって)
10. エクスルターテ
11. オリノコ・フロウ
12. グロリア(サン=サーンス:オルガン交響曲)
13. 生命の泉(ショパン:プレリュードハ短調)
14. ステイ・ウィズ・ミー
15. アヴェ・ヴェルム
16. 彼方の光(NHK土曜ドラマ「氷壁」主題歌/パナソニック VIERA TV-CM曲)
17. 天使たちの歌

エンジェル・ヴォイセス 来日記念盤 2012

2012年3月14日発売 2,000円(税込) TOCP-71262



Liberera



ウィンター・ソングス

2011年11月9日発売
3,000円(税込)
TOCP-90003

リベラ初のクリスマス・アルバム!(HQC+DVD)

[CD] 収録曲

- 1 もろびとこぞりて/2 スティル、スティル、スティル/3 キャロル・オブ・ザ・ベル/4 久しく待ちにし(賛美歌第94番)/5 ダビデの村に/6 オー・ホリー・ナイト/7 ホワイト・クリスマス/8 聖体拝領のキャロル/9 もろびと声あげ(賛美歌第102番)/10 ハヴ・ユアセルフ・ア・メリー・リトル・クリスマス/11 シング・ザ・ストーリー/12 コヴェントリー・キャロル/13 牧人ひつじを(賛美歌第103番)/14 ユピラーテ・デオ/15 羊の群れを守る夜に/16 ララバイ(グッドナイト・マイ・エンジェル)

<日本版ボーナストラック> 誓い~ジュピター

[DVD] 収録曲

生命の奇跡 / エターナル・ライト



生命の奇跡

2011年4月13日発売
2,000円(税込)
TOCP-71077

NHKドラマ10「マドンナ・ヴェルデ」主題歌

「生命の奇跡」収録!

- 1 生命の奇跡(NHKドラマ10「マドンナ・ヴェルデ」主題歌)/2 彼方の光(NHK土曜ドラマ「氷壁」主題歌/パナソニック「VIERA」TV-CM曲)/3 あなたがいるから(映画「誰も守ってくれない」主題歌)/4 サルヴァ・メ(NHKドラマ「ある日、嵐のように」主題歌)/5 サンクトゥス(バッヘルベルのカノン)/6 エターナル・ライト(大塚製薬 上海万博・日本産業館ブース出展 テーマ曲)/7 生まれくる日(日本テレビ系「宇宙でイチノバン逢いたい人」エンディングテーマ)/8 ディープ・ピース



ピース

[New Edition]
2010年11月3日発売
3,500円(税込)
TOCP-70898



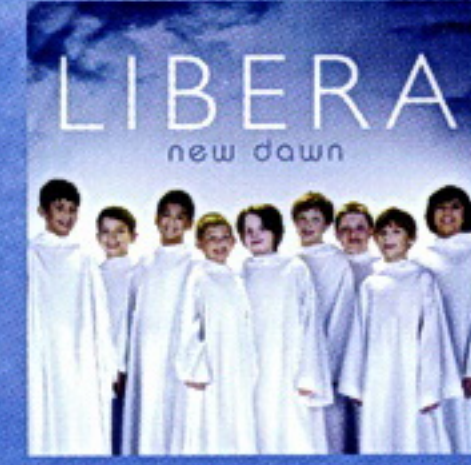
ピース

2010年3月10日発売
2,500円(税込)
TOCP-70834



祈り

~あなたがいるから
2008年12月10日発売
2,500円(税込)
TOCP-70673



新しい夜明け

2008年6月11日発売
2,500円(税込)
TOCP-70519



エンジェル・ヴォイセス

リベラ・イン・コンサートDVD
2008年3月5日発売
3,800円(税込)
TOBW-3598



エンジェル・ヴォイセス

リベラ・イン・コンサート
2008年3月5日発売
2,500円(税込)
TOCP-70489



エンジェル・ヴォイセス

来日記念盤
CD+DVD
2007年3月7日発売
3,400円(税込)
TOCP-70191



エンジェル・ヴォイセス

2006年11月1日発売
2,500円(税込)
TOCP-70100



彼方の光

~ Welcome to Liberera's World ~
2006年2月1日発売
2,000円(税込)
TOCP-67886



ビジョンズ

2005年10月13日発売
2,500円(税込)
TOCP-67788



フリー

2005年2月9日発売
2,500円(税込)
TOCP-67495

会場にてCD販売中!

リベラ公式サイト
<http://emij.jp/libera/>



EMI Music Japan

Libera

Angel Voices Tour 2012

S T A F F

Creative Producer : Ben Crawley

Sound Mixing & Production : Sam Coates

Sound Engineering : Ben Rentoul

Lighting : Luke Avery

Events Coordinator : Andrew Winter

Stage Management : Simon Lewis & Jonathan Barrington

Chaperones : Barbara Geraghty & Eleanor Lewis

Management : Steven Philipp

舞台監督 黒田大輔

音響 岩澤和生、宮下 章

照明 小林隆志

映像 奥村千之介

楽器 皆川直和

テクニカル コレスポンダンス&通訳 南出 卓

製作協力 クリエイト大阪、サウンドメソッド、ライトシップ、
NEGA、サンフォニックス

制作 KAJIMOTO 広瀬公美子 島田健聖 高橋久美子

イープラス 海野 晋 福岡 聡

票券 KAJIMOTO 若林るみ

写真: Andrew Winter(Libera) 酒寄克夫

デザイン: 柳沼博雅(GOAT)

印刷: アベ印刷

発行: KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-25河北ビル

エンタテインメントプラス 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティウエストタワー21F

2012年4月13日発行 禁無断転載 ©KAJIMOTO/エンタテインメントプラス



Libera

Angel Voices Tour 2012